

1. 「新エネルギー」に係る取組方向ごとの取組概要及び平成 29 年度の取組方向について

(1) 取組方向 1 新エネルギーの導入促進

①取組概要

5 月に出力 51 メガワットのオリックス 51M 津メガソーラー発電所が稼働するとともに、6 月に多気町内で 7 月に津市内で木質バイオマス発電所が稼働したほか、3 月に県内 2 箇所風力発電所が稼働予定など、新エネルギーの導入が進みました。

②平成 29 年度の取組方向

新エネルギーの導入に向けた体制づくりについて、必要に応じて支援するとともに、発電規模の大きな新エネルギー施設については、景観、自然環境など地域との共存共栄に向けた課題も生じているため、新エネルギー施設の適正導入に向けて、関係部局及び市町と協議を行うとともに、国等のガイドラインの研究を進めます。

(2) 取組方向 2 家庭・事業所における省エネ・革新的なエネルギー高度利用の推進

①取組概要

5 月に啓発用の新エネルギービジョンのリーフレットを作成し、国、市町、関係団体などと連携して、イベントの機会を捉えて普及啓発を行うとともに、県政だより、県政チャンネルなども活用して新エネルギー導入の事例等を紹介しました。

②平成 29 年度の取組方向

国、市町、関係団体などと連携して、各種イベント等を通じて、分かりやすく、参加しやすい普及啓発活動に取り組みます。

(3) 取組方向 3 創エネ・蓄エネ・省エネ技術を活用したまちづくりの推進

①取組概要

四日市市では、7 月に四日市市における水素関連事業可能性検討委員会を設置するとともに、鈴鹿市では、10 月に燃料電池自動車を公用車として導入するなど、水素エネルギーを活用した新たなまちづくりの取組が進められています。

②平成 29 年度の取組方向

水素の活用、バイオマス産業の活性化など創エネ・蓄エネ・省エネ技術を活用した先進的な取組や、国の支援制度等の紹介を通じて、地域団体、事業者、市町等が主体となるまちづくりの取組を支援します。

(4) 取組方向 4 環境・エネルギー関連産業の育成と集積

①取組概要

工業研究所が企業とのエネルギー関連技術に関する共同研究を 7 件実施するとともに、エネルギー関連技術研究会の 4 分科会を各 1 回開催し、企業等とのネットワーク構築を進めています。

②平成 29 年度の取組方向

工業研究所において、県内企業等との共同研究実施により、県内企業の環境・エネルギー関連分野への進出を促進するとともに、エネルギー関連技術研究会の 4 分科会の開催を通して、県内企業との新たな共同開発につなげる取組を進めます。

(5) 取組方向5 次世代の地域エネルギー等の活用推進

①取組概要

11月に開催したみえリーディング産業展では、県内初となるトヨタとホンダの燃料電池自動車、移動式水素ステーションの同時展示を行うとともに、みえ水素エネルギー社会研究会公開セミナーを開催しました。

(株)ユウグレナによるバイオ燃料用藻類生産実証プロジェクトの実施に向けた支援を行いました。

平成28年度末に予定されている志摩半島沖での第二回メタンハイドレート産出試験に関する情報収集のため、7月に海洋掘削を行う企業等との意見交換を行いました。

②平成29年度を取組方向

水素エネルギーに関して、県民の理解を深めるとともに、水素を産業活性化につなげるよう検討を進める必要があります。

セルロースナノファイバーやバイオ燃料をはじめとしたバイオリファイナリーに関する情報の提供や企業マッチングに取り組むことが必要です。

「メタンハイドレート地域活性化研究会」において、産出試験に関する情報収集を行うとともに、市町への情報共有を行う必要があります。